

| 社会福祉学科 | | | 社会福祉 専攻 | | | |
|---|------------|-------|--|-----------------|---------------------------|--|
| 科目名: 発達心理学 | | | 担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎 | | | |
| 単 位 | 開講時期(年次・期) | 科目の区分 | 授業方法 | (卒業要件) 必修/選択 | 備考 | |
| 2 | 2年次 | 前期 | 専門科目 | 講義 | 選択 | |
| 実務経験を用いてどのよ心理臨床の実務経験に基づき、人間の生涯発達について解説するとともに、発達と関連する障害や疾患うな授業を行っているか: についても理解できるように授業構成を行っている。 | | | | | | |
| 授業科目の学習教育目標の概要: | | | | | キーワード | |
| 人は誕生してから亡くなる時まで、遺伝的要因と環境的要因からの相互作用を受けながら、常に変化を続ける。すなわち生涯にわたる発達の縦軸と関連付けること無しには、「個人」の理解はありえない。生涯発達の基礎的知識を学ぶ。 | | | | | 遺伝と環境、生涯発達、発達段階、発達と支援、認知症 | |
| 授業における学修の到達目標 | | | | | | |
| 学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連) | | | 自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号) | | 1. 2. 5. 6. | |
| A 知識・理解力 | | | 発達心理学の基礎知識を身に付けている。 | | | |
| C 論理的思考力 | | | 人間の行動や心理を発達の観点で意味づけながら、科学的に理解できる。 | | | |
| E 自己管理能力 | | | 生涯発達の縦軸に自らを位置づけて、自らを理解し、律することができる。 | | | |
| 成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする | | | | | | |
| テスト: 40 % | レポート: 40 % | 発表: % | 実技試験: % | その他: 20 % | | |
| 特記事項: レポート(40%)、期末試験(40%)、授業への取り組み態度(20%)に基づいて成績評価を行う。 | | | | | | |
| アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク | | | | | | |
| テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート提出は第8回、期末試験は別に定めた日時に実施する。 | | | | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 中間期と期末にフィードバックする。 | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | 準備学習(予習・復習等) | | | |
| | | | 学習内容 | 学習に必要な時間(分) | | |
| ① 遺伝と環境および発達の基礎概念 | | | 遺伝と環境について調べる | 30 | | |
| ② 発達段階の理論 | | | 主な発達理論を調べる | 60 | | |
| ③ 乳児期の心理的発達 | | | 乳児期の特徴について調べる | 60 | | |
| ④ 幼児前期の心理的発達 | | | 幼児前期の特徴について調べる | 60 | | |
| ⑤ 幼児後期の心理的発達 | | | 幼児後期の特徴について調べる | 60 | | |
| ⑥ 児童期の心理的発達 | | | 児童期の特徴について調べる | 60 | | |
| ⑦ 青年期の心理的発達および発達と関連する障害 | | | 青年期の特徴について調べる | 60 | | |
| ⑧ 成人期の心理的発達 | | | テキストⅠ・Ⅱ章 | 60 | | |
| ⑨ 高齢期: 家族との関係 | | | テキストⅢ章 | 60 | | |
| ⑩ 高齢期: 仕事・社会との関係 | | | テキストⅣ章 | 60 | | |
| ⑪ 高齢期の心理的問題 | | | テキストⅤ章 | 60 | | |
| ⑫ サクセスフル・エイジング | | | テキストⅤ章 | 60 | | |
| ⑬ 認知症の理解と支援Ⅰ: アセスメントの技法 | | | テキストⅥ章 | 60 | | |
| ⑭ 認知症の理解と支援Ⅱ: BPSDへの対応 | | | テキストⅥ章 | 60 | | |
| ⑮ まとめ | | | 総復習をしておく | 120 | | |
| 使用テキスト: シリーズ生涯発達心理学⑤ エピソードでつかむ 老年心理学、大川一郎・土田宣明・宇都宮博・日下菜穂子・奥村由美子(編著)、ミネルヴァ書房、ISBN978-4-623-05895-2 | | | その他参考文献など: 塚野州一(編)みるよむ生涯発達心理学—バリアフリー時代の課題と援助—[北大路書房] | | | |
| 受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 乳幼児から高齢者まで、「個人」を理解しようとするときに発達の観点から関連付けることは、きわめて重要です。なぜなら人は常に成長・変化し続けるものだからです。必要資料は適宜、追加配布しますが、図書館等できちんと予習しておいてください。 | | | | | | |